

新潟整形外科研究会会誌投稿規定

(2021年11月27日改訂)

1. 投稿は新潟整形外科研究会会員に限る。ただし本研究会の編集委員会の依頼承認がある場合はこの限りではない。
2. 投稿論文は新潟整形外科研究会の発表演題を、本誌に原著として掲載することを原則とする。また、会員に限り本研究会で口演していない整形外科、災害外科に関する臨床的な原著、症例報告なども、他誌に掲載予定のない場合は投稿を認める。
3. 投稿論文は、整形外科、運動器災害外科領域の臨床および基礎面の原著、症例報告とする。
4. 原稿は、A4判用紙に横書き、12ポイント、行間隔2行とし、次のように記載する。①タイトルページ、②本文4,000字以内（本文の最後に全内容を把握できる200字程度の「まとめ」をつけること）、③文献、④図のタイトルおよび説明文、⑤図表12枚以内（組写真も可）。表はMicrosoft Wordの表機能等を用いて作成し、表番号とタイトルも同ページ内（表の上）に記載すること。原則として新仮名遣い・常用漢字を用い、学術用語は日本整形外科学会誌の規定に準ずる。
5. タイトルページには以下を記載する。①論文の題名、②ランニングタイトル（各頁上部欄外に記載する題名 スペースも含め15字以内）、③key words（日本語・英語併記で3個）、④著者名・共著者名、⑤所属、⑥連絡先の住所・電話番号・メールアドレス、⑦発表済みの論文であれば発表学会名。
6. 原稿は常用漢字、新かなづかいを用いる。学術用語は『医学用語辞典』（日本医学会編）、『整形外科学用語集』（日本整形外科学会編）にできるだけ従うものとする。年号は西暦年号を使用し、用語中、固有名詞はすべて固有の文字を使用し、日本語化した外国語は片カナで表すものとする。数量単位は、m, cm, l, ml, °C等で表し、その他、図1, 図2, 表1, 表2, 症例1, 症例2, 第12胸椎（またはT12）第1腰椎（またはL1）等の用例に従う。
7. 図（写真、写真の補助線、グラフ等を含む）は白黒もしくはグレースケールのデジタルデータ画像とする。JPEG または TIFF ファイル形式、300dpi以上の解像度で作成し、そのまま製版できるよう正確、鮮明なものを使用する。他の著作物から引用・転載を行う場合は、必ずその旨を記載するとともに出典を明示すること。また、予め著作権者に許可を得て、著作権者から受領した許可書を投稿時に添付すること。病理標本写真は原則としてスケールを入れること。どうしてもつけられない場合は original magnification として倍率を記入する。特別に図のカラー印刷を希望する場合は、別途、事務局に申請する。
8. 特定の薬品名、材料名、機器名などを本文中に記載するときは、登録商標には®（右肩文字の記号®, registered sign）を、商標または商品名にはTM（右肩文字のTM, trademark sign）を付記する。

薬品名：一般名（商品名®またはTM）
（例）diclofenac sodium（ナポール®）

材料名・機械名：一般名（商品名®またはTM, 会社名, 会社所在地）
（例）MRI（Magnetom™, Siemens, Munich, Germany）
9. 文献は本文中に引用したもののみとし、著者姓のアルファベット順に番号を入れ、『日本整形外科学会誌』に準じた次の形式によること。文中に引用文献の番号を肩番号として入れる。著者名は3名を記し、4名以上の場合は3名のあとに、ほか（日本語文献）et al（外国語文献）とする。雑誌名の略称は、英文雑誌は

原則としてIndex Medicusの略称に従う。和文雑誌の場合はその雑誌の定めた略称を用いる。

<雑誌>

著者名(姓を先に)．論文名．雑誌名 発行年；巻数： ページ．

(例) Baldini A, Anderson JA, Cerulli-Mariani P, et al. Patellofemoral evaluation after total kneearthroplasty. Validation of a new weight-bearing axial radiographic view. J Bone Joint SurgAm 2007; 89: 1810-7.

佐々木孝, 持田郷, 野々宮廣章ほか. 指 PIP 関節側副靭帯損傷の手術成績. 日手会誌 1994; 11: 136-8.

<書籍>

著者名(姓を先に)．チャプター名．編者．書名．版．発行地： 発行者(社)； 発行年． 引用ページ．

(例) Kane W. Fractures of the pelvis. In: Rockwood CA, Green DP, eds. Fractures in adults. 2nd ed. Philadelphia: Lippincott; 1984. 1093-208.

高橋孝文. 先天性股脱臼の在宅療育指導. 飯野三郎編. 先天性股関節脱臼に関する 10 章. 東京: 南江堂; 1978. 284-93.

<電子ジャーナル>

著者名(姓を先に)．論文名．雑誌名 発行年；巻数： ページ. doi. [アクセス年月日]
巻数やページが付与されていない場合は,

著者名(姓を先に)．論文名．雑誌名 発行年. doi. [アクセス年月日]

(例) Watanabe H, Marushima A, Kawamoto H, et al. Intensive gait treatment using a robot suit hybrid assistive limb in acute spinal cord infarction: report of two cases. J Spinal Cord Med 2017. doi:10.1080/10790268.2017.1372059. [Accessed 2018 Jun 21]

<インターネットサイト>

サイト名： 当該ページ名． <URL> [アクセス年月日]

(例) 厚生労働省: 臨床研究に関する倫理方針. <<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/rinsyo/dl/shishin.pdf>> [Accessed 2018 Jun 21]

10. 投稿論文の内容に関し、「日本整形外科学会における事業活動の利益相反 (Conflict of Interest) に関する指針」に基づき、当該論文に関する利益相反を開示しなければならない。具体的には、論文の末尾(引用文献の後)に以下の記載例に従って一文を明記する。

利益相反がない場合：本論文に関して、開示すべき利益相反状態はない。

利益相反がある場合：本論文の研究資金(使用した機材等)は株式会社**から提供を受けたものである。

11. 論文内容が臨床研究の場合は、世界医師会によるヘルシンキ宣言、および厚生労働省が提示する「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守しなければならない。論文内容が動物実験である場合は、医学生物学的研究に関する国際指針の勧告に準拠する必要がある。以上の遵守を投稿時に確認し、著者が所属する施設等の倫理審査委員会の承認を受けた旨を倫理規定が必要ない場合を除き、本文中に「なお、本研究は当該施設倫理審査委員会の承認を得た」等と明記すること。同時に、日本外科学会のプライバシー保護ガイドライン「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を遵守し、患者または被験者の人権を損なうことのないよう個人情報保護に留意した記述でなければならない。

12. 厚生労働省が提示する「臨床研究法」で定める特定臨床研究に該当する研究（未承認・適応外の医薬品に係る臨床研究等）は、著者が所属する施設等の倫理審査委員会で承認を得て、同法で定める手続きを経た上で投稿すること。またその旨を論文中に明記すること。
13. 論文の採否は編集委員会で決定する。修正を要するものはコメントを付して書き直しを求める。
14. 本誌に掲載される著作物の著作権は掲載に当たって、新潟整形外科学研究会に帰属することを前提とする。共同著作の場合も著者全員の同意があり、また完全な譲渡の自由を有する著作物であること。
15. 初校校正は著者が行う。この際印刷上の誤り以外、文章の書き替えは原則として認めない。
16. 投稿は原則メールでの受付とする。メール本文に氏名、所属、論文タイトル、添付ファイルの内容を明記の上、原稿データと「投稿論文チェック表」、「利益相反自己申告書」を添付して本規定末のメールアドレスへ送ること。原稿が事務局へ到着した日を受付日とする。
17. 原稿送り先：原稿は下記メールアドレスに投稿する。

〒951 8510 新潟市中央区旭町通1

新潟大学大学院医歯学総合研究科機能再建医学講座整形外科学分野（内）

E-mail seikei@med.niigata-u.ac.jp TEL(025) 227 2272 FAX (025) 227 0782